

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【公表番号】特表 2006-528484 (P2006-528484A)

【公表日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報 2006-050

【出願番号】特願 2006-520905 (P2006-520905)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 7/00 (2006.01)**

**A 6 1 K 35/76 (2006.01)**

**A 6 1 K 48/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/02 (2006.01)**

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 7/00

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機能性 ICP34.5 をコードする遺伝子を欠いたヘルペスウイルスであって、該ヘルペスウイルスが、

(i) プロドラッグ変換酵素をコードする異種遺伝子、及び

(ii) 細胞と細胞との融合を引き起こすことができるタンパク質をコードする異種遺伝子、を含む、前記ヘルペスウイルス。

【請求項 2】

前記プロドラッグ変換酵素がシトシンデアミナーゼである、請求項 1 に記載のウイルス。

【請求項 3】

前記細胞と細胞との融合を引き起こすことができるタンパク質がテナガザル白血病融合性糖タンパク質である、請求項 1 又は 2 に記載のウイルス。

【請求項 4】

前記ウイルスの抗腫瘍治療効果を高めることができる、さらなる異種遺伝子を 1 以上含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

【請求項 5】

ICP47 をコードする機能性遺伝子をさらに欠いた、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

**【請求項 6】**

単純ヘルペスウイルス1又は2の株である、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

**【請求項 7】**

非実験室ウイルス株である、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

**【請求項 8】**

European collection of cell cultures (ECAAC) に受託番号 01010209で寄託された HSV1 JSIに由来する、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

**【請求項 9】**

療法によりヒト又は動物の体を治療する方法に使用する、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

**【請求項 10】**

請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載のウイルスを含む、癌の治療を目的とした薬剤。

**【請求項 11】**

前記薬剤が直接腫瘍内接種用である、請求項 10 に記載の薬剤。

**【請求項 12】**

有効成分として請求項 1 ～ 8 のいずれか1項に記載のウイルス及び製薬上許容可能な担体もしくは希釈剤を含む医薬組成物。